

エコアクション21

環境経営レポート

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年5月31日作成

小林建設工業株式会社

目 次

1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	3
3. 環境経営方針	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	7
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	11

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

事業所名 小林建設工業株式会社
代表取締役 小林 俊司

2) 所在地

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1296-3
TEL:0267-67-4063 FAX:0267-67-4065

3) 環境保全の責任者及び担当者

環境管理責任者 秋山 賢也
担当者 須田 聡
連絡先 電話・ファックス 所在地と同じ
HPアドレス <http://www.kobayashi-kk.com>

4) 事業内容

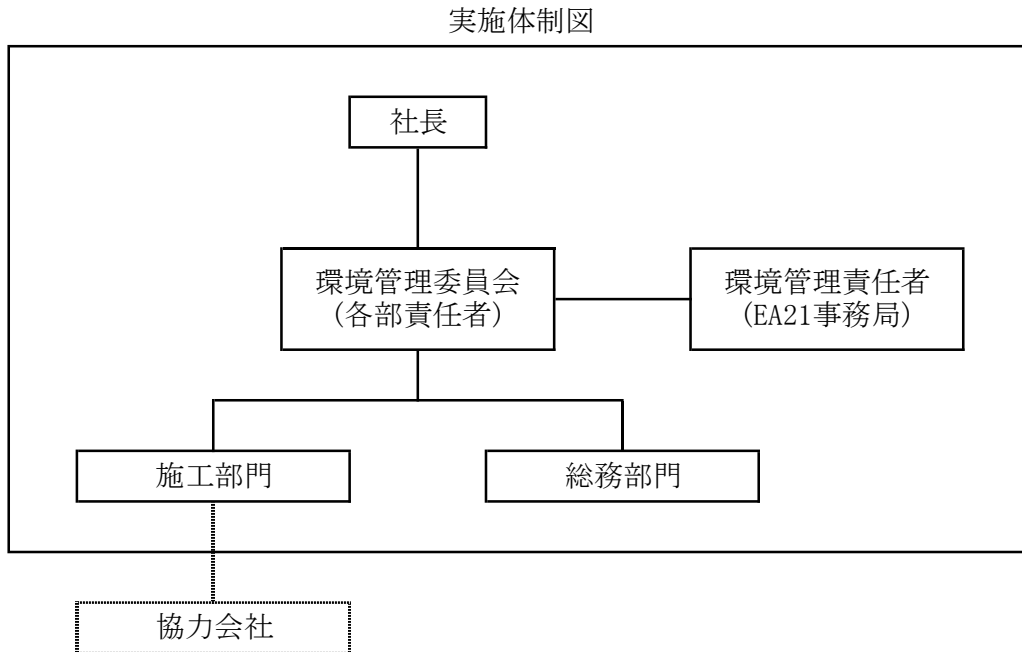
- ・ 土木・建築工事の設計・施工
(土木・建築・大工・とび土工・石・屋根・鋼構造物・左官・舗装・内装仕上
・水道施設・解体工事)
- ・ 太陽光発電事業

事業規模

規模	単位	72期	73期	74期
		2020.4~2021.3	2021.4~2022.3	2022.4~2023.3
工事等の件数	件	106	92	84
売上高	百万円	353	495	778
職員数	人	14	15	17
事務所床面積	m ²	219	219	219
倉庫床面積	m ²	156	156	156
資機材置場面積		4,639	4,639	4,639

2. 対象範囲

- ・ 土木・建築工事の設計・施工
(土木・建築・大工・とび・石・屋根・鋼構造物・左官・舗装・内装仕上・水道施設・解体工事)
- ・ 太陽光発電事業



社長

- ・ 環境方針を定め、全社員に周知する。
- ・ システムが有効に機能しているか、適切に実施されているか評価し、見直しをする。

環境管理委員会(各部門長)

- ・ 具体的な環境目標、活動計画を策定し社員に周知する。
- ・ 目標の達成状況を確認し、是正処置や予防措置を検討、指示する。

環境管理責任者

- ・ 全体の運用状況の確認
- ・ 活動計画、活動実績を取りまとめ社長による見直しを図る。
- ・ 環境管理責任者の指示のもと環境管理委員会を開催する。

施工部門・総務部門(全社員)

- ・ 環境方針、活動計画に従い環境活動に取り組む。
- ・ 外部及び内部からの苦情等の受付の窓口となり、対応部門を決め改善する。

3. 環境経営方針

基本理念

私たちは、経営理念である「緑豊かな故郷づくり、笑顔あふれる人創り」のもと環境負荷の少ない施工を提案し建設業を通じて安心・安全・快適な街づくりに社員一丸となって取り組んでまいります。

行動指針

- 1) すべての事業活動・製品・サービスにおいて、地球環境保護を念頭に行動します。
- 2) 環境マネジメントシステムの構築、活用により環境負荷の低減に努めます。
- 3) 環境に関連する法令遵守をもとに環境保護を行って行きます。
- 4) 各部門において環境目標を設定し、その達成と改善に努めます。
- 5) 従業員に対し、環境保全に関する意識の高揚を高め省エネルギー、CO2排出量及び廃棄物の削減、リサイクルの推進に努めます。
- 6) 工程管理、品質管理、原価管理を含め近隣住民の理解を得られる工事の施工に努めます。
- 7) この環境方針は、インターネット等を通じて一般の方にも公開します。

制定日 2010年1月16日

改定日 2020年5月30日

小林建設工業株式会社

代表取締役 小林俊司

4. 環境経営目標

2020年度の実績を基準として1年ごと及び3年後の長期目標を設定

単年度目標及び長期(3年)目標

No.	項目	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
1	CO2排出量削減 (省エネルギー) 基準値: 184,022.87 kg-CO2 (2020年度数値)	180,342.41 kg-CO2 (-2 %)	176,661.96 kg-CO2 (-4.0 %)	174,821.73 kg-CO2 (-5.0 %)
2	廃棄物排出量削減 (リサイクル推進) 基準値: 7,530.00 kg (2020年度数値) (混合廃棄物・木くず)	7153.50 kg (-5 %)	6777.00 kg (-10 %)	6400.50 kg (-15 %)
3	水道使用量削減 基準値: 63.00 m3 (2020年度数値)	61.74 m3 (-2 %)	60.48 m3 (-4 %)	59.85 m3 (-5 %)

※2019年度中部電力購入電力実排出係数:0.431kg-co2/kWh

5. 環境経営計画

環境活動計画及び具体的施策

No.	目標に対する活動項目
1	①燃料(事務所暖房用)使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所内の暖房温度の設定の適正化 ・ 長時間不在時は暖房を止める ・ 効率の良い機器への交換 ②燃料(現場動力用・通勤車)使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ こまめなアイドリングストップ ・ 急発進・急ブレーキの抑止及びエコドライブ ・ エネルギー効率に優れた建設機械・車輛の採用 ③電気使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間不在時の照明等電気機器の電源を切る ・ 残業時間、夜間照明は最小限にする
2	①廃棄物発生の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別の徹底 ・ リサイクル出来るものは極力リサイクルへまわす ・ 材料等再利用出来る物は可能な限り再利用する ②紙使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 両面印刷及び裏紙の利用 ・ データの電子化 ・ ミスコピーを減らす
3	①水道使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道の水を出しっぱなしで使用しない ・ 洗車、植木の水やり等の雨水の利用 ・ 現場での散水等の雨水、河川の利用
4	①その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電システムの導入

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

1)取組結果

N0.	教育訓練名称	対象者	実施日	内容
1	EA21見直し検討会	管理者	2022/5/29	EA21全般について見直し検討
2	EA21教育	全社員	2022/6/18	EA21全般について前年度結果報告と今年度指導
3	EA21教育	全社員	2022/11/18	EA中間報告、今後の対応について
4	EA21新規入場者教育	各現場新規入場者	随時	各種手順書について
5	緊急事態訓練	現場ごと	随時	現場で考えられる緊急時の対応について

社内・現場・協力業者等への教育・指導



2)次年度の取組内容

取り組むべき項目

1. 車輜・重機の燃料使用の削減(エコ運転の徹底)
2. ごみの分別の徹底(廃棄物排出量の削減)
3. ボランティア活動の参加(公園の整備等)
4. 水道光熱費の削減(事務所環境の見直し)

3) 具体的取組事項

現場周辺の美化活動（公園整備のボランティア活動）



7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

2022.4~2023.3

No.	項目	2022年度目標	2022年度実績	問題点及び対策
1	CO2排出量削減 (省エネルギー) 基準値: 184,022.88 kg-CO2 (2020年度数値)	176,661.96 kg-CO2 (-4 %)	110,219.10 kg-CO2 (-40.1 %)	・重機を使用しての作業が少なかったため軽油の使用が減ったため。冬季の電気使用量が増えている。省エネの事務所を検討する。
2	廃棄物排出量削減 (リサイクル推進) 基準値: 7.53 t (混合+木くず(ボックス)) (2020年度数値)	6.770 t (-10 %)	7.01 t (-6.9 %)	・木くずの排出がなかった。仕事の内容によっても変動するので今後も分別を徹底する。
3	総排水量削減 基準値: 63 m3 (2020年度数値)	60.50 m3 (-4 %)	63 m3 (0.0 %)	・横ばいの状況が続いている。今後も節水に努める。
4	太陽光発電 発電量	予測発電量 154,018 kW/h	(126.8 %) 195,330 kW/h	電池容量 139.7kW

※購入電力排出係数 : 0.431kg-co2/kWh

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関する環境関連法規制は以下の通りです。

なお、関係当局より違反等のご指摘及び違反訴訟は過去3年間ありません。

2023/5/29現在

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	OK
建設リサイクル法	対象建設工事の届出、再資源化等の実施・報告・記録の作	OK
指定副産物利用促進省令	再生資源利用計画書、実施書の作製、報告	OK
労働安全衛生法(石綿)	解体、改修工事における石綿等の除去作業	OK
建築基準法	建築物の設計施工	OK
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	排ガス対策型建設機械の使用	OK
騒音規制法	対象特定建設業の届出、規制等の遵守	該当無し
振動規制法	対象特定建設業の届出、規制等の遵守	該当無し
河川法	届出、沈砂池等設備の設置	OK
セメント及びセメント系の固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領	六価クロム溶出試験の実施	OK
薬液注入工法 による建設工事の施行に関する暫定 指針	地下水等の水質の監視	該当無し
消防法	自家用給油所、地下タンク貯蔵所等の届出	OK
フロン排出抑制法	解体工事に伴うフロン類の適正な管理	該当無し
道路交通法	道路使用の届出、規制等の順守	OK

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による取組の見直しを行い、次の結果が得られました。

インプット(審議事項)	アウトプット(見直し結果:社長指示)
(1)安全衛生環境パトロール、外部監査の結果(環境管理責任者)	現場内の整理整頓が廃棄物削減の基本となります。分別の徹底をして混合廃棄物の排出を少なくする。
(2)最近の不適合事例及び是正処置(各部長)	物損事故が発生しています。大きな事故になる前に原因の分析及び対策を行ってください。
(3)地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正処置(各部長)	地域住民に周知をし発注者とも十分な打ち合わせをして苦情や手直しの無いよう施工してください。
(4)法規制、遵守評価、社会状況の変化(環境管理責任者)	最新法令の情報収集に心掛け、届け出は期限までに提出してください。
(5)目標の達成状況(各部長)	相対的に削減出来ていると思われませんが、工事量や工種により増減がでできます。その中でも最善の施工方法で環境活動してください。
(6)負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果(環境管理責任者)	行動や施工の見直しを行い常に改善の意識を持ち、環境にやさしい快適な職場環境を作ってください。
(7)改善の提案(各部長)	常に環境にやさしく第三者に配慮した施工方法などの検討を行いCo2の削減意識を持ってもらいたい。また、資源の無駄を無くし利益の確保にも努めてください。
<p>総評(方針、目的、目標、実施体制、環境経営システムの見直しの必要性の言及)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この先は更なる物価上昇や工事量の減少が見込まれます。施工方法等の工夫により一層の経費削減に努めてください。 ・省エネ性能の高い事務所の増築も視野に冷暖房費の削減を進めていきます。 ・若手社員の不足等人材確保の問題も深刻です。労働環境の改善も含め先を見据えた対策をとっていきましょう 	